



平成 20 年 9 月 24 日

各 位

神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 14 号
株式会社 メディネット
代表取締役 CEO 木村佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木邦彦
電話番号 045(478)0041(代表)

メディネット、東大病院と難治がんに対する新たな治療法の確立に向けて ガンマ・デルタ T 細胞療法を用いた3件の共同臨床研究を開始

株式会社メディネットは、平成 20 年 9 月 24 日、東京大学医学部附属病院(東京都文京区、病院長: 武谷 雄二、以下「東大病院」)と共同で、『肝細胞がん肝外転移』、『肝内胆管がん』及び『食道がん』を対象として、ガンマ・デルタ T 細胞療法ⁱ(以下「 γ δ T 細胞療法」)を用いた臨床研究を開始しましたのでお知らせします。

今般開始する3件の共同臨床研究は、有効な治療法が確立されていないがんに対する新たな治療法の確立を目指し、 γ δ T 細胞療法の有効性等を評価検討するものです。これらの共同臨床研究を通じて治療法の有効性等が確認されれば、難治がんに対する予後の改善に寄与するものと期待されます。

尚、これらの共同臨床研究を通じて有効性を示すデータが得られた場合、東大病院により、先進医療または高度医療評価制度に申請することも検討されています。

【各臨床研究の概要】

(1)肝細胞がん肝外転移に対する臨床研究

①背景と必要性

肝細胞がんは門脈浸潤を起こしやすいこと等から、5 年間で 60~80%の患者が肝内再発を起こすと言われていています。肝内再発に対しては、肝切除やラジオ波焼却療法等の局所治療により、十分制御できますが、肝内への治療を繰り返している間に、肺や骨等への肝外転移を来すことも稀ではありません。このような肝外転移に対する明確な標準治療は定まっておらず、また、肝内再発病変に比べると治療効果が乏しいため、QOL を維持しつつ病勢制御効果が期待される新しい治療法が必要とされています。

②対象と研究内容

肝細胞がんからの肝外転移を有する患者を対象に、 γ δ T 細胞療法による治療を行ない、その有効性等を評価検討します。

③共同研究体制

研究責任者: 東大病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科 國土 典宏教授

(2)肝内胆管がんに対する臨床研究

①背景と必要性

肝内胆管がんは、外科的切除が根治を期待できる唯一の治療法とされていますが、肝切除を行っても、5年生存率は約30%と決して高くありません。さらに、肝内胆管がんはリンパ節転移を来たすことも多く、リンパ節転移陽性の場合では5年生存率は15%程度と極めて低いことが知られています。このような肝内胆管がんの予後の改善を目指した有用な術後補助療法の構築・確立が求められています。

②対象と研究内容

肝内胆管がんの術後患者を対象に、化学療法(ゲムシタビン)と γ δ T 細胞療法を併用した術後補助療法を行ない、その有効性等を評価検討します。

③共同研究体制

研究責任者：東大病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科 國土 典宏教授

(3)食道がんに対する臨床研究

①背景と必要性

食道がんは、診断技術の向上や外科手術の進歩により、治療成績が向上しつつあります。しかしながら、手術不能であった場合では、様々な治療方法が提唱されるものの、その適応を提示するのにとどまっているのが現状です。また、手術可能であった場合も、約30~50%が再発すると言われる上、抗がん剤に対する感受性が低いため、再発及び手術不能な食道がんに対する新たな治療法が求められています。

②対象と研究内容

再発または手術不能な食道がん患者を対象に、 γ δ T 細胞療法による治療を行ない、その有効性等を評価検討します。

③共同研究体制

研究責任者：東大病院 胃・食道外科 森 和彦助教

メディネットは、いずれの共同臨床研究においても、当社が保有する免疫細胞療法に係る技術、ノウハウ、各種基礎データの提供及び、データ解析等の役割を担っております。

以 上

本件に関するお問い合わせ：

株式会社メディネット 広報グループ
神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-14
045-478-0041(代表)

ⁱ ガンマ・デルタ T 細胞療法 (γ δ T 細胞療法)

末梢血液中に含まれる γ δ 型 T 細胞を、がんの溶骨性骨転移などで使用されるアミノビスフォスフォネート製剤と IL-2 の組み合わせによって選択的に活性化、増殖させて患者自身の体内に戻す治療法。 α β T 細胞療法と比較して、より活性化された γ δ 型 T 細胞が数多くを占める。

平成 19 年 10 月、メディネットが新たな治療技術として、 γ δ T 細胞療法に係る技術の提供を開始。